広報かがわ

発行
香川自治会広報部会

香川の人口　11,644人
男性　5,778人
女性　5,866人
世帯数　4,959戸
2022.8.1現在

3年ぶり・安否確認訓練実施

9月4日、2019年から3年ぶりに安否確認訓練を実施しました。コロナ禍で3密を回避するため訓練を中止していましたが、感染の拡大に注意を払えば、屋外での実施は可能としての決定でした。決定からしばらくして第7波が猛威を振るい始めましたが、無事に実施できました。

■あくまでも安全を心がけて

対面での接触を避けるために、2017年3月に実施した初回の方法を採用。目的と目標をそろえて、運用は各町内会にあったやり方としました。

当日、会員さんには玄関先にタオルを掲げて安否を提示していただき、組長さんが会員と対面することを回避しました。

■対象となる世帯は？

香川自治会員を対象に、事前に組長さんに担当の組員名簿を配布して、そのリストに基づいて1軒ずつ確認訓練を行いました。

リストに避難行動要支援者が記載された組長さんは、どなたが要支援者に該当されるのか、改めて確認できました。

■町内会毎に訓練拠点本部を設置

訓練拠点本部は、組長さんから担当する組の参加状況の報告を受け、町内会として集計しました。

■自治会本部で集計・総括

本部では10時より簡易無線機を使用して各町内会の訓練状況の中間報告を受け、11時過ぎに最終報告を受けて訓練を終了しました。

本部ではパソコンに逐一入力されたデーターが、プロジェクターによりスクリーンに投影され、集計作業を共有しました。

その後、拠点を撤去した各町内会の責任者が自治会館に集合し、12時より全員でプロジェクターの集計結果を確認しました。

その後、安否確認訓練の総括と反省会を実施し、次回実施に向けて意見交換を行いました。

香川自治会 安否確認訓練集計表

2022／9／4

	全世帯数	報告世帯数	タオル掲示 有	タオル掲示 無
数	3,252	2,999	1,819	1,180
%	―	92.2	55.9	36.3

広報かがわ 創刊から300号

■広報かがわの歩み

香川自治会初代会長の選任（昭和20年）、茅ヶ崎市制施行（昭和22年）、自治会の会則制定（昭和33年）の後、昭和45年5月25日に自治会として創刊号を発行。

当初の誌名は「香川ニュース」とされ、体裁は今とほぼ同じ大きさの4頁で、月間誌でした。

その2年後に隔月で2～4頁構成の発行となり、第66号（昭和57年6月号）より、誌名が「広報かがわ」に改名されました。

現在、広報かがわは第270号（平成29年9月号）から、フルカラーとして現在に至っています。

なお、バックナンバーは全てホームページでご覧になれます。

(1)昭和45年5月25日　香川ニュース　創刊号

香川ニュース　創刊号
発行所　香川自治会
発行人　自治委員会
編集人　香川自治会
広報委員会

今年度役員きまる

―四町内会長を設置―

三月末に評議員会を開いて四十五年度自治会役員について協議したところ、新会長に亀井隆義氏が推せんされ、会長に決定した。設けられた町内会長はまた新たに執行部役員が次のようにきまった。

△会長　亀井隆義
△第一町内会長（原・橋村誠・第二南・問門）亀井千代春・第三（中通）柳川治郎・第四（東・北・篠谷）熊沢庄次
△総務　熊沢伊助
△会計　戸羽竜三（原）鈴木忠也（南・配島高雄（問門）柳田喜代治（中通）飯田清正・坂田繁三（東）熊沢茂二
△広報　田島高雄・池田一男・新倉甚太郎・岡本博・土木委員長（北・篠谷）阿諏訪勉　委員池田定治・田中文化厚生委員長　竜三・熊沢庄次・鳥井鶴吉・熊沢義之・小笠原美津雄・小田達之・生委員長　太郎△通学道路特委員会委員長　雄・熊沢勝司・熊沢嘉春・岡本毛五郎・熊沢チヨ子・△公報委員長　静江・新倉良和・折野・須藤発明・△会計　伊助・柳川治郎・石亀善三郎

新倉第一△香川間門委員長柳川治郎委員岡本博・戸羽竜三・熊沢庄次・鳥井鶴吉・熊沢義之・石亀善三郎

今年度の事業計画は、本年度の事業計画の議決を経て、本年度の事業計画が次の通り決定。

(1)一、市費施行の事業
(2)香川中通地内の水路改良工事施行
(3)第140番の水路改良工事施行
(4)香川駅構内便所の漏水及用地買収
(5)防犯対策
(6)香川体育振興会への助成
(7)香川青少年育成協議会への助成
(8)子供会の助成
(9)その他陳情事項

四月十八日（月）、評議委員会の議決を経て、本年度の事業計画が次の通り決定。

(1)一、市費施行の事業
(2)香川中通地内の水路改良工事施行
(3)第140番の水路改良工事施行
(4)香川駅構内便所の漏水及用地買収
(5)防犯対策
(6)香川体育振興会への助成
(7)香川青少年育成協議会への助成
(8)子供会の助成
(9)その他陳情事項

(イ)四月初旬に香小裏門西方面の土留工事
(ロ)舗装促進について
(ハ)六月及び九月補正予算措置
(ニ)下寺尾堀50mの改修
(ホ)東方70mおよび西方部分の改修
(ヘ)不良箇所の排水
(ト)問門一箇所の排水
(チ)自治会所の工事
(リ)広報委員会によりタブロイド版で月刊紙を発行し、ニュース発行、伝達
(ヌ)他に必要に応じて臨時号を発行
(ル)舗装箇所の促進
(ヲ)排水整備
(ワ)道路

二、事業計画は舗装や水路改良工事など

(1)九月十日中旬にかける香小校庭の改修
(2)九月十日中旬にかける香小校庭の改修
(3)九月十日中旬にかける香小校庭の改修
(4)文化厚生事業として八月中旬に神社境内で盆踊大会を開く。
(5)六月以降二回薬剤を散布
(6)消防訓練を実施
(7)防犯対策の増設や修繕について
(8)地域住民の要望を迅速に通報し、地域住民の要望を把握処理するためにアンケートをとった。
(9)老人クラブ、青年会、子供会、婦人会など地域住民団体に対する補助金を交付。

(10)四月九日加藤義長、同二七日に市議会教育民常部長、市営保育所の設置について陳情。
(11)地域環境の整備に関連して住民福祉に関連する諸問題を検討し、対市交渉をもち、涉外活動を展開。

活動方針を決定

今年度の自治活動に当って次のような方針が決定された。

(1)の町内会制の採用
急激な人口増に対処するために事業分量を適に分担するのよりも、人との考えから副会長を昇格し町内会長を設け実上の自治会長の職務を担当。会長は主として渉外活動に専従するとした。

(2)情報活動の積極的展開
従来は年二回発行していたが会ニュースを年四回発行し、毎年度の徹底を図ること。

(3)消防活動の援助協力
地域住民の要望を迅速に通報し、地域住民の要望を把握処理し、状況や事業の成果を迅速に通報し、地域住民の要望を把握処理するためにアンケートをとった。懇談会を開いて広聴活動を市に調査研究する。

(4)会議時間の短縮
自治会の費の処理案は広報委員会の内容と深夜に及ぶことがあった。時間が原則として会議は定時に終了することとした。

(5)省力化と能率化
土木事業はすべて市管理担当課で施行するよう要望すること。

(6)
各町内会に一人委員をおき区域内のパトロールを行うことに改正した。ただし非常な害などの範囲場合は例外とする。

(7)
この問題は意契約として自治会予算で随意契約による外注工事とする。

(8)
地区計集金務とすることにした。なお地区計集金務も年度の改正案に基づき茅ヶ崎農協の委託集金に変更した。

(9)
自治会費の処理案は広報委員会の短縮

自治会会則を改正

香川は健康的な住居地帯として数年来急速に伸び、地帯として計画は近年に近くの市城字人口約五三〇〇人に対し約二〇〇〇人の市城字地別みても浜見平、鶴が台の両団地は除けば筆頭で、断然群を抜いている。

統計によれば世帯数約二四〇〇戸、

香川は健康的な住居地帯として数年来急速に伸び、地帯として計画は近年に近くの市城字人口約五三〇〇人に対し約二〇〇〇人の市城字地別みても浜見平、鶴が台の両団地は除けば筆頭で、断然群を抜いている。

しかし、社会的施設の点では、市街地域などに比べて、かなりの立遅れが目立っている。

当自治会では、このようなマンモス化して、将来の問題として、「秩序あるまちづくり」を目指す現状をふまえ、将来の「秩序あるまちづくり」を目指す現状に対処するため、自治会もうたい文句の「活性化」、「滑滑運営」を基本にすえ、「自治会の基礎的な活動」を進めるとともに、「基幹的な計画」を進めるべきである。

住みよい町の創造を

亀井隆義

鉄道、地等の都市計画もあり、都市化の兆しが一層濃くなりつつある。

このような変化は、一つには首都圏への人口過度集中がもたらし、一つには首都圏への人口過度集中がもたらし、この地域の人口は、昭和八〇年あったが、農家も現在専業十五戸に、激減し、やや脱農村期にいろろとしている。

これに対しわれわれが当面なすべきことは何か。それは生活環境の整備を急ぐことである。香川の存在を示す小学校はすでに白亜の殿堂となり、道路・下水の整備など公共施設の遅れがめだって評価されてきたことである。新都市計画法にたいして地域の九割が市街化区域となるもとで、引受けた。お引受けした以上、私はかねがね一人一業をよしとしておりますあとつぎ、新会長の引継事項を守り、つぎ香川発展の礎としてつくった考えである。

現在、四二〇戸、五四三人が区域内の第一町内会は、この地域は、市街化区域に相鉄新線の乗り入れや東急田園都市線、地下鉄等の都市計画にもとづいて、本年度に相鉄新線が開通し、駅周辺の生活圏を形成する。

これは大正年間に開通した相鉄線を軸に、香川駅を中心とする物語っており今日のモノレール、住民の住民さが住民に対する期待は、大きい。

住民の対話の中で展開していきたい。

活動の中で、自治会の活動は、現代に住みよい明日の都市造りを目指すことである。

現代に住みよい明日の都市造りは、われわれの明日の姿を見せ、公共施設の建設が遅れがちだったことを、今回図らずも会長に選任されたことを、私は、かねがね一人一業をよしとしておりますあとつぎ、新会長の引継事項を守り、つぎ香川発展の礎としてつくった考えである。

現在、四二〇戸、五四三人が区域内の第一町内会は、この地域は、市街化区域となるもとで、引受けた。お引受けした以上、